

オイスカ in 四国

<http://www.oisca459.org/>

オイスカ(OISCA)の意味

O...Organization (機構) I...Industrial (産業) S...Spiritual (精神) C...Cultural (文化) A...Advancement (促進)

Vol. 4

2007年10月



オイスカふるさと祭り・夏 国の料理です。いかがですか？

contents

第2期5年目 ロンボック島植林プロジェクトが終了

稔り多き成果・「オイスカ四国の森と橋」

愛媛県支局・タイ植林事業終了

微笑みの国で癒されて

食べて踊って体験して「オイスカの夏」を楽しみました

第一回ふるさと祭り・夏 大盛況！

支局活動の紹介 高松支局 徳島県支局

2007年度上半期のあゆみ

これから参加できるオイスカのイベント！



Cultivate the Future
大地と人に、もっとドラマをー

これから参加できるオイスカのイベント！

国際交流お茶会

11月11日(日) 香川女性部主催

高松市天神会館にて開催します。
売上げはチャリティーとしてオイスカに寄付されます。



直島植林

11月下旬 四国支部主催

昨年に引き続き、山火事の被害で森を失った直島で植林を行ないます。
高松、坂出、地元直島からのボランティア、そしてオイスカ研修生も参加します。



研修修了式

12月8日(土) オイスカ四国研修センター

今年の初めに入所した1年コースの研修生の修了式です。研修の成果を日本語で発表し、歓送会では研修生が作ったお国自慢の料理をお出しします。



つみ木広場

保育園、幼稚園児～小学校低学年向けの環境、森林教育を行っています。
ヒノキの間伐材で作った「つみ木」1万個で、遊びながら森の大切さを子供たちに教えます。開催希望の方はセンターまでお問合せください。



四国のつどい in 香川

10月12日(金) 四国支部主催

高松国際ホテルにて開催されます。香川の会員が一堂に集まり、懇親を深めます。
インドネシア・ロンボック島植林に参加した子供たちの発表や、オイスカ研修生のアトラクションを企画しています。



オイスカ農場産直品サービス

産直市：毎月第2・4土曜日 香川女性部主催

高松市中野町公園にて開催しています。

宅配サービス

高松市在住オイスカ会員向けに、お米や野菜をセットでお届けします。

トナーカートリッジで森作り

エプソン・キヤノンの使用済みトナーカートリッジを集めて送ると、ベルマーク財団の「友愛援助」という制度を通して、「子どもの森」計画に支援ができます。詳しくはオイスカ四国研修センターまで。

入会の手続き

入会申込書に諸事項をご記入の上、最寄のオイスカ事務所にご送付ください。

会費		年額
特別会員	法人 100,000円以上 個人 50,000円以上	年額
維持会員	法人 40,000円 個人 20,000円	

ご希望により 月額 2,000円 会員募集中

24,000円/年
毎月自動引き落としが可能
(クレジットカード、銀行、郵便局口座)

税法上の優遇措置 いずれの場合もオイスカに対する寄付金、会費の税控除が適用されます。ご送付いたします領収書を確定申告時、法人(企業)では、決算時の税務申告にご活用ください。

お問い合わせ先

- 四国支部 〒760-0023 高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F ☎(087)821-1503
- ◆高松支局 〒760-0023 高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F ☎(087)821-1503
- ◆坂出支局 〒762-0011 坂出市江尻町1721-10 (髙石井内) ☎(0877)45-0141
- ◆三豊支局 〒769-1502 三豊市豊中町笠田笠岡3915-3 (髙イナダ内) ☎(0875)56-6001
- ◆香川東支局 〒769-2316 木田郡三木町井戸621-1 (髙バック三樹内) ☎(087)899-1111
- ◆中讃支局 〒763-0034 丸亀市大手町3丁目2-1 ☎(0877)22-5973
(四国電力髙丸亀営業所内)
- ◆綾川支局 〒761-2103 綾歌郡綾川町陶5179-1 ☎(087)876-3333
- ◆徳島県支局 〒770-8555 徳島市寺島本町東2-29 ☎(090)3181-0158
(四国電力髙徳島支店総務課内)
- ◆愛媛県支局 〒790-0925 松山市鷹子町588-3 (東予産業髙内) ☎(087)970-3100
<http://www.oisca-ehime.com>
E-mail lovegreen@oisca-ehime.com
- ◆高知県支局 〒780-0870 高知市本町1-6-24 (髙知商工会議所総務部内) ☎(088)875-1177
- 四国研修センター 〒761-2103 綾歌郡綾川町陶5179-1 ☎(087)876-3333
<http://www.oisca459.org/>
E-mail oisca459@mx8.tiki.ne.jp

編集後記

今年は秋になるのが待ち遠しかったのではないのでしょうか。観測史上初の最高温度を記録した今年の夏は、本当に暑かったですね。この暑さの直接、唯一の原因ではありませんが、「地球温暖化」によって私たちの生活が壊されていくのではないかと危惧をひたひたと感じずにはいられない夏でした。

この暑い中、私はあるプログラムで何度も森に足を運びました。すると森の木陰は涼しいんです。いくら技術が進んでも地球全体を冷やすクーラーはできません。オイスカは今夏もインドネシア・タイで植林活動を進めました。自然の力をお借りして、少しでも地球が冷えますように。(あ)



▲植林を支えた若い力 明日の地球は僕達が守ります!

今年8月には、遺跡
で有名なアユタヤでの
オイスカ活動の意義を
一層深く心に刻みまし
た。



▲これは食用竹の苗です

植林に、12人もの学生の参加があり、一段と活気のあるツアーになりました。国花であるゴールデンシャワーや食用のマルメロ・竹などの苗木2,180本を植え、また植林した学校での2日間の交流は若者の心に強い印象を残しました。
計4回のタイ植林を振り返りましたが、自分達が植林した森がタイにあり、そこに住む人たちと気持ちが繋がっていると思うとワクワクしませんか。最後になりましたが、ここには書ききれない参加した皆様の溢れる思いがあります。ぜひ行間から読み取っていただきたいと思います。



▲未来への願いを込めて植えています

愛媛県支局・タイ植林事業終了 微笑みの国で癒されて

愛媛県支局主催「微笑みの国、タイ王国の植林計画」が2004年11月にスタートしました。まずはブーケットへ、33人が参加。学校や現地の方等、総勢100人で1,000本のマングローブ植林にトライ!

しかし、やる気とは裏腹に泥に足をとられ、子供達に手を引かれ、助けられての植林でした。

2005年は古都チェンマイへ行くはずでしたが、前年、私達が帰国して1ヵ月後にインドネシア・スマトラ沖地震の津波で、植えたマングローブの半分が流されてしまいました。そこでもう一度ブーケットへ行こうと決め、救済金を集め11月、23人で出発しました。若者の参加が増え、なんと平均年齢は20歳も若くなりました。無事に再会したタイの子供達とともに補植できたのは嬉しいことでした。またダウン症の子供216人を預かる養護学校を訪問しました。言葉でなく心で交流できたことに感動し、ますます子供達の心に癒されたのは私たちの方でした。

2006年は1年遅れで、雨季の8月にチェンマイへ。学校の敷地で子供達とジャックフルーツなど果物の木を800本以上植えました。石のように固い地面を掘るきつい作業でしたが、一緒に働いた村人は汗だくの私たちに感心してくれ「後の面倒をしつかりみます」という嬉しい言葉をいただきました。

現地オイスカのランブーン研修センター訪問では、活動内容を具体的に

に伺い、観て、体験して、

オイスカ活動の意義を一層深く心に刻みまし

た。

第2期5年目 ロンボック島植林プロジェクトが終了 稔り多き成果・「オイスカ四国の森と橋」

8月19日(日)から24日(金)に第2期・第5回「オイスカ四国の森」インドネシア・ロンボック島植林が開催され、無事終了しました。



▲完成した「オイスカ四国橋」

四国とロンボックの架け橋となることを祈って▶



19日(日)、一行は関西空港から、インドネシア・バリ島へ。20日(月)バリ・デンパサール空港から、ロンボック島へ空路で移動。西ロンボック県知事イスカンダール氏が列席した開会式の後、ドリアン、マホガニー、サオスス、センゴンなど4000本の植林を行いました。午後から現地小学校を訪問し、坂出白峰ライオンズクラブからロンボック島のすべての小、中学校計6校に667冊もの図書を贈呈しました。21日(火)も引き続き6000本の植林を行い、両日で計一万本を植えることができました。日本からの42名の出席者のうち9歳から19歳まで小、中、高校生、学生も参加しており、現地の子どもと手を取り合って、植林をしたり、お互いの言葉や名前を教えあったりして、交流をしていました。

今年の目玉企画は「オイスカ四国橋」の建設でした。地元の方々が生活する上で、常々不便で困っていた場所に、高松支局会員の吉川氏と四国支部の支援で、橋を建設しました。橋は長さ14m、幅はたったの1.5mしかありません。これには理由があり、大きな橋を作ると、盗伐した木をトラックで運び出される危険性があるらしいのです。現地の人々の生活の向上と、森を守ることの両面から考えて、この設計で橋を建設しました。

4日目、5日目はバリ島へ移動し、それぞれオプショナルツアーなどでリゾート地を楽しみ、6日目



▲交流会に参加した大喜びの子供たち

植林ツアーは今年で終わりですが、森作りはこれで終わりではありません。現地の人々の力によってこれからも守られ、育てられていきます。私たちは遠くの日本から、ロンボックの森が大きく育っていくことを願い、見守っていかしくありません。
私たちは忘れません。第二の故郷、ロンボック島の人々のこと、そして森のことを。ありがとう、そしてまた会う日まで。



▲みんなお揃いのTシャツで参加

全員無事に、関西空港へ帰着しました。

今回で第二期が終了し、大きな成果をロンボック島に残すことができました。

日本から我々が植林に行くのは、現地への啓蒙、植林に対するきっかけ作りである

植林ツアーは今年で終わりですが、森作りはこれ

食べて踊って体験して「オイスカの夏」を楽しみました 第一回ふるさと祭り・夏 大盛況!

7月21日(土) 第一回オイスカふるさと祭り・夏が研修センターで開催されました。お祭りの名前の由来は、

- ① センターの地元、綾川町は研修生にとって第二のふるさとであること
- ② オイスカセンターに楽しい仲間がたくさん集まって、センターがみんなのふるさとになること
- ③ 海外の研修生と交流し、地球全体が私たちのふるさとだという意識を持つこと



▲ギターと三線(沖縄三味線)で日本の名曲を演奏



▲グランド・フィナーレはみんなで「ふるさと」を大合唱



▲教室は研修生発表の展示場に

当日は3時から開場し、センターの敷地には所狭しと様々なイベントが準備されました。バスケットコートに特設された「ふるさとオンステージ」では、ギターと三線(沖縄三味線)の伴奏による歌、ネパール国民体操「ナマステ体操」、マジックショー、オイスカ研修生による歌やダンス、武道が披露されました。ステージの周りには地球環境に配慮した生ゴミ処理機、アトピーの方でも食べられる野菜の販売、カンボジアの手工芸品を販売した国際協力NGO「セカンドハンド」、血液サラサララ度チェックコーナーなど様々な出店がありました。また研修生の農場では「夏野菜収穫体験」が実施され、小さな子どもからお年寄りまでがトマト、キュウリ、オクラなどの収穫を楽しみました。

お陰様で研修センターが香川県に設立されてから今年で39年を迎え、国際交流や異文化理解という言葉も一般的になってきました。センターを交流で訪れる方の数も年々増えています。今まで参加者の人数を限定して交流イベントを行ってききましたが、せっかく問合せをされても断ることも多くなり、今年から趣向を変え、誰でも何人でも来られるようにしたところ、500人も人が参加されました!



▲収穫体験を通して野菜が大好きになるかも

「オイスカ食堂」ではフィジー、バヌアツ、キルギス、ミャンマー、カンボジアの研修生が作ったエスニック料理と、地元の名人による手打ちうどん、鮎の実演販売が出店され、参加者に大人気でした。

室内では研修生の研修成果発表の展示紹介、お子様が遊べる「つみ木広場」、尺八とお琴の演奏、ミネラルウォーターのサービスなどがありました。

午後8時、参加者とボランティア、研修生で童謡「ふるさと」を合唱し、大成功のうちに終了しました。

協力していただいた皆様、参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。



▲「つみ木広場」では森の勉強をしました

高松支局

様々な活動に取り組む
オイスカ四国の中心組織

高松支局は四国支部最大の会員数を誇り、組織活動の中心です。

毎年恒例の初夏のチャリティーゴルフは会員同士の交流の場、新しい仲間作りの場となっています。

6月にオークラホテルで行なう総会では、研修生と会員とのコミュニケーションが深まり、同時に開催されるセンター農場の産直バザーが大好評で、毎回全部売り切れるほどです。



▲総会で研修生が歌を披露



▲直島での「山・林・SUN」植林

また10月に高松支局が中心となって開催する「四国の集いin香川」は毎年500名以上参加し、四国支部最大の行事となっています。秋には「山・林・SUN植林」を毎年、開催し昨年からは山火事の被害があった「直島」で行なわれるようになりました。

高松支局の特徴はセンターとの距離が近く、関係が深いことです。センターが会員向けのサービスとして行なっている「センター農場生産品の宅配サービス」を利用しているのはほとんどが高松支局の会員です。

市町村合併で高松市の人口も増加し、これからますます組織の増強が期待されています。

徳島県支局

世界に誇る「阿波踊り」で
国際交流



▲徳島支局会員の皆さんと記念撮影

徳島といえば阿波踊り、いつでも誰でもどこでも気軽にできる世界に誇る2拍子の踊りに今年も研修生が参加しました。

8月15日(水)に研修生を招待。

徳島市内ヨンデンプラザに集合。名人の指導のもとに基本的な足の運びを練習し、それに手を合わせて、いち、に、いち、に、はじめはおそるおそるでした。



▲初めての阿波踊りを楽しむフィジー研修生

が、すぐにリズムに乗って阿波踊りの完成です。練習が終わり、徳島支局女性部の心のこもった食事でおなかを満たしていざ出陣!

四国電力徳島支店グループ連に加わって、まずヨンデン踊り広場で肩慣らし。「踊りは?」「オイスカ!」「オイスカは?」「踊りだ!」とかげ声もスムーズ。

徳島市内に繰り出して両国本町演舞場で演舞。研修生の踊りに沿道の観客から暖かい声援が飛んでいました。

加藤会長始め徳島支局の会員も揃いのオイスカの青いTシャツを着て踊り、大いに交流の成果を上げました。今後とも研修生との交流を続けたいと思います。

2007年度 上半期のあゆみ

高知県支局



会長交代・西山昌男氏
ごあいさつ

「この七月総会で、故入交会長の後任としてオイスカ高知県支局会長の大役を仰せつかりました。昨年十一月、高知商工会議所会頭に就任以来、さまざまな役職を前会頭の入交さんから引き継ぎましたが、中には初めて耳にするものもあり戸惑いました。ただ、オイスカについては、自らが高知県支局の会員であり、私自身も総会等へ出席した経験がございましたので、今回、大役をお引き受けるにも一定、心構えはできておりました。

企業も個人も、この地球で活動する以上は、誰しも環境問題と無関係ではられません。身近な国際協力を通じて、会員の皆様と誇りと喜びを共有できる高知県支局となるよう微力ではございますが、努めてまいります。今後ともご指導いただけますようお願い申し上げます。」

オイスカ四国研修センター

40周年記念事業実行委員会設立



▲センターで開催された会議の様相

40周年記念事業実行委員会が設立、7月4日(水)に初めての会合が開かれました。委員は綾川町長藤井賢氏、センター発祥の地である冠纒神社の宮司・友安盛敬氏、オイスカ四国支部会長佐藤忠義氏を顧問に迎え、センター所長小野泰司氏を委員長とし、総勢13名で熱心に討議がなされました。

「四国のつどいin徳島」は6月14日(木)、徳島市内ホテルグランドパレスで行われました。毎年総会後に行われているパーティーを昨年からは四国のつどいin徳島として開催しているものです。昨年を3名上回る76名が参加し盛大に行われました。今年は特に女性の参加者が半数を超え、例年にもまして華やかな会合となりました。

「四国のつどい」

徳島、高知、愛媛で開催



▶研修生の国の衣装を着るオイスカ会員(徳島)

「四国のつどいin高知」は7月10日(火)、高知市内商工会館にて総会の後、70名の参加者を得て開催されました。今総会で新しく就任した西山昌男会長と新しい役員が加わり、新鮮で明るい雰囲気の流れとなりました。

オイスカ研修生から、国の歌や踊りが披露され、また年配の方には懐かしい「ブンガワソロ」をインドネシア研修生中心に大合唱し、大いに盛り上がりました。



▲総会前に松山市内観光をする研修生(愛媛)



▲研修生出身国国旗で飾られた総会会場(高知)

お知らせ 「四国のつどいin香川」は、10月12日(金)高松国際ホテルにて開催されます。

4月

- 2日 オイスカ・タイ総局からタイ青年7名招聘、センターに滞在(～5月1日)
- 11日 第25回 四国支部幹事会
- 16日 タイ青年・うちわ作り体験(中讃支局主催)
- 20日 タイ青年・西念寺(まんのう町)訪問・ホームステイ(中讃支局会員の紹介)
- 27日 タイ青年・愛媛県ステイ(愛媛県支局主催～30日)



4月 タイ青年 済美高校での交流(愛媛県支局)

5月

- 1日 綾川町立陶小学校との交流(センターにて)
- 2日 綾川町立昭和小学校との交流(センターにて)
- 8日 基礎研修修了式(センターにて)
- 9日 高松市立庵治中学校との交流(センターにて)
- 第141回支部常任幹事会(センターにて)
- 24日 中讃支局総会(丸亀市にて)
- 26日 香川東支局総会(センターにて)



5月 うちわ作り体験(中讃支局)

6月

- 2日 綾川町生涯学習講座に研修生が講師として参加(香川・綾川町にて)
- 土柱見学・藍染体験・ホテル鑑賞交流会(高松支局家族会主催、徳島県吉野川市にて)
- 7日 坂出支局総会(坂出市にて)
- 13日 第142回支部常任幹事会(高松市にて)
- 14日 徳島県支局総会「四国のつどいin徳島」(徳島市にて)
- 18日 愛媛県支局総会「四国のつどいin愛媛」(松山市にて)
- 21日 綾川町立陶小学校5年団と田植交流(センター農場にて)
- 三豊支局総会(観音寺市にて)
- 23日 高松市市民文化祭「アーツフェスタかままつ2007」生活文化ショーに研修生出演
- 26日 高松支局総会(高松市にて)
- 徳島女性部総会(徳島市にて)
- 27日 ユーブ自然派オリーブで研修生が料理教室
- 28日 森林についての交流学習「つみ木広場」(綾川町立陶保育所にて)
- 29日 環境・生き方・研修生との交流学習「つみ木広場」(観音寺市立大野原小学校にて)



6月 会員との交流(高松支局 総会にて)

7月

- 4日 第一回40周年記念事業実行委員会(センターにて)
- 10日 高知県支局総会、四国のつどいin高知(高知市にて)
- 11日 第143回支部常任幹事会(愛媛県にて)
- 13日 家族会メンバーが生活改善研修で草木染指導(センターにて)
- 21日 第一回オイスカふるさと祭り・夏(センターにて)
- 22日 外国人のど自慢・お国自慢大会(高松市国際交流協会主催)に研修生が参加
- 24日 香川県立三木高校のインターシップ受け入れ 4名(香川東支局支援にて～26日)
- 28日 地元の方々との「どじょう汁」交流
- 29日 日本オセアニア友好協会総会に研修生が参加(高松支局会員の紹介)
- 31日 香川県立三木高校のインターシップ受け入れ 5名(香川東支局支援にて～2日)



6月 総会での研修生自己紹介(三豊支局)

8月

- 1日 綾歌ライオンズクラブの例会に参加(綾川町にて)
- 2日 第二回40周年記念事業実行委員会(センターにて)
- 3日 第144回支部常任幹事会(高松市にて)
- 木工教室・つみ木広場(高知市にて 高知県支局主催)
- 4日 綾川町生涯学習講座に研修生が講師として参加(香川・綾川町にて)
- 6日 四国学院大学 社会活動実習 オイスカ夏季集中研修活動 9名参加(センターにて～8日)
- 7日 つみ木広場(香川・国分寺南部保育所にて)
- 8日 つみ木広場(香川・屋島ゆうゆう広場にて)
- 11日 オイスカ全国炊事担当者会議(センターにて～12日)
- 15日 阿波踊りに参加(徳島市にて 徳島県支局の招待)
- 18日 グローバル・ユース育成事業(岡山県青少年課主催 センターにて ～20日)
- 19日 インドネシア ロンボック島植林(四国支部主催 ～24日)
- 22日 県立学校教職10年経験者研修社会体験研修 9名参加(香川県教育センター主催 センターにて～24日)
- 25日 私の青空 アジア・タイ(アユタヤ)オイスカの森植林(愛媛県支局主催～29日)



7月 木工教室(高知県支局)

9月

- 5日 第145回支部常任幹事会(徳島市にて)
- 6日 第三回40周年記念事業実行委員会(高松市にて)
- 16日 さぬきフェスタに参加(高松市にて～17日)



7月 三木高校インターンシップ(香川東支局)

香川県女性部主催「オイスカ産直バザー」は高松中野町で毎月第2・4土曜日に開催しました。